

## ParaWorldSailingChampionships2023 参加報告書

期間 (8/8~8/21) 開催地 (オランダ・ハーグ)

2023/9/9 丹羽巧

この度は皆様のご支援のおかげで、大会に出場することができました。心から感謝申し上げますとともに、大会参加のご報告を申し上げます。

### Hansa303 クラス

このクラスは、1人乗り、2人乗りと2パターンの乗り方ができる艇です。沈することもなく、コントロールロープも少ないため、操船がしやすく2人乗りで乗れば、初心者にもヨットを教えやすいビギナーから楽しむことができる艇です。

またステイを使った大きなチューニングはないため、現地でチャーターしても問題なく乗れます。この点はパラ種目としては非常に大きなポイントだと感じております。障害の度合いによっては自身で整備が難しく、公平性が保たれやすいことはメリットだと思います。簡単な艇ではありますが、ワンデザインで艇の差がほぼ出ないため、レースで勝つためにはボートバランスやストラテジー、タクティクスで勝る必要があります。したがってプレイできる選手層が広いながらもレース性を損なわず、突き詰めて技術を磨くことができる魅力のあるクラスだと思います。簡単に乗ることができることとレースで勝つことは全くの別物だと知っていただきたいです。

同時に私が感じる日本の Hansa303 クラスの問題点を共有させていただければと思います。インクルーシブへの取り組みは非常に素晴らしく、私も微力ながらも貢献できたらと思っております。しかし、初心者から始めやすいが為に、ヨットルールを知っているセーラーが少なく感じております。特にパラワールドを目指す選手は、ルールを覚え、タクティクスを学び、Enjoyセーリングの域を出ることが必要だと思います。日本チームがパラワールドで勝つためには、中級者、上級者を育てるヨットカリキュラムが必要です。

### 今大会の目標

日本代表として、海外選手とのコミュニケーションを楽しみ、日本チームをアピールすること。

優勝を目指し、レースに挑み日本最高位、自己最高の順位をとること。

## 成績

2位/15位 (2位/15ヶ国)

Rank	MNA	Crew	Race 1	Race 2	Race 3	Race 4	Race 5	Race 6	Race 7	Race 8	Race 9	Race 10	Total	Net
1st	POL	Piotr Cichocki	1	2	-5	1	2	1	1	1	1	1	16	11
2nd	JPN	Takumi Niwa	3	1	2	-6	1	3	2	3	4	5	30	24
3rd	POR	Joao Pinto	4	5	4	3	-6	4	4	5	3	3	41	35

## 感想・反省

今大会は打倒ポーランドの1点で挑んだ大会でした。昨年の3位という順位を上回るため、大会前の半年間、必死で練習をしてきました。常勝のポーランドに対して、6レース目まで3点差、7レース目で反撃の狼煙が上げられるところでしたが僅差で1位を譲ってしまうレース展開でした。均衡したレースができていただけに要所で一步及ばすのところがあったかと思います。順位は過去最高の世界2位で嬉しい反面、悔しさもある大会でした。打倒ポーランドを掲げて、再挑戦したいと思います。

私がパラワールドで毎回感じるのですが、レース中はライバル同士、陸上やレースの合間はお互いにコミュニケーションを取り、尊敬することを忘れないことが素敵です。海外の選手は特にその傾向にあり、日本選手はコミュニケーションの取り方が大きな課題になると感じております。私自身英語が得意ではないですが、身振り手振りでも気持ちを伝えることを意識してきました。世界選手権での交流は自信にも繋がりますし、一番の楽しみといっても過言ではございません。

## 今後の活動

私自身のレベルアップはもちろん、他の選手のレベルアップにも貢献して、日本から他の選手も派遣することができるようになり、更にパラセーリングを盛り上げたいです。そのためレベルアップ講座など、私にできる範囲で関わっていきたいと考えております。

## 最後に

ピッコラくらぶの皆さんはじめ、徳良湖ヨット倶楽部の方々、セイラビリティ江の島の皆様など多大なるサポートをいただいたこと大変感謝しております。また寄付金をくださった方々も誠に有り難うございました。

皆様の温かいサポートのおかげで、世界2位という日本パラセーリングでの快挙を成すことができました。少しでも皆様へ恩返しができたら幸いです。

次は優勝を目指していきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。